

NTTグループの事業に安心安全を与え、成長を支える 知的財産戦略

NTT知的財産センタは、新たな価値創造と地球のサステナビリティのため、知財投資の成果を知的財産として適切に保護し、他者の知的財産を尊重しながら活用を進めます。

NTT知的財産センタの活動方針

幅広い技術分野において基礎から応用までの研究開発に取り組むNTTグループは、世界でも類を見ない通信事業者として長年にわたり知財投資（研究開発投資）を積み重ねてきました。

NTT知的財産センタは、新たな価値創造と地球のサステナビリティのために挑戦し続けるNTTグループの事業に安心安全を与え、成長を支えることを活動方針と定め、知財戦略の立案、知財投資により得られた成果を知的財産として適切に保護、他者の知的財産を尊重しながらの

活用を進めています。

例えば、構想から実現のフェーズに入ったIOWNにおいては、NTTインベティブデバイス株式会社の設立や更なる研究開発投資を図っていますが、NTTグループだけで完結できるものではありません。NTT知的財産センタは、活動方針に沿った様々な営みを通じ、グローバルな視点でパートナーの皆さまとのコラボレーションを支え、新たな価値の創造に貢献していきます。

知的財産戦略の立案・推進

私たちは、NTTグループにおける知的財産マネジメントの中核組織として事業活動の源泉となる研究開発成果を特許に代表される知的財産権として確保、もしくは、社内に閉じたノウハウとすることで積極的かつ適切に保護・管理し、事業優位性の確保に努めています。

また、産業界の発展に貢献する技術や標準化され社会での活用が期待されている技術を幅広くライセンスすることによって成果の普及を図る一方で、NTTグループ各社が研究

開発成果を事業で活用する場面においては、他者の知的財産権を十分尊重しながら活用を進めています。

知的財産戦略はこういった活動の礎となるもので、新たな価値の創造と地球のサステナビリティのため、事業戦略・研究開発戦略と三位一体となって①戦略的な権利化、②リスクマネジメント、③保有知的財産の活用の観点から立案・推進しています。

①「戦略的な権利化(知的財産ポートフォリオ構築)」による競争力強化	・研究開発活動の成果を、技術内容や想定されるビジネスモデルに応じて戦略的に権利化、知財ポートフォリオを構築
② 自社を守り、他者を尊重する「リスクマネジメント」	・グループ各社が研究開発成果を事業で活用するにあたって第三者の知的財産権を侵害することがないように、研究開発成果を提供するまでの段階において国内外の他者権利を調査 ・知的財産に関する国内外の制度改正、紛争事例、裁判事例等の動向とその影響をグループ各社と共有することで、知的財産権に関する法令の遵守とビジネスリスクの低減
③「保有知的財産の活用」で広がるビジネス展開、仲間作り	・事業の競争優位性確保のため、また、お客さまと社会への貢献のため、知的財産をビジネスへ展開 ・積極的な標準化活動の実施

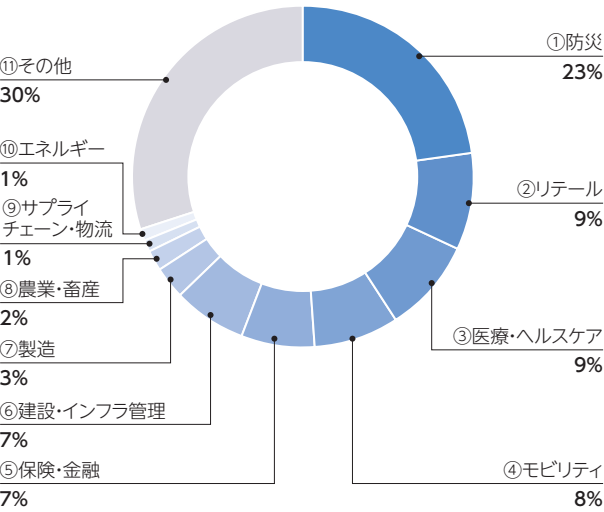


AIビジネスに関連した知的財産ポートフォリオ

NTTグループにおける知財投資の大きな割合を占める特許研究開発の成果として得た特許の保有件数は、国内外をあわせ約18,000件となっています。

NTTグループでは、世間の注目を大きく集めているAI技術についても長年研究開発を進めており、学習技術等の基盤的技術だけでなく、多岐にわたる業界向けのビジネスを想定した応用発明についての特許も取得しています。

● NTTグループのAI出願（ビジネス関連）の分野別の割合



分類名	説明
①防災	災害予知・予測、ハザードマップ・3D地図・XR等による災害事前認知、遠隔リアルタイムモニタリング
②リテール	人員・店舗・リソースの最適配置、購買・施行の傾向推定とシミュレーション、EC及び店舗における販促活動の最適化、購買データに基づく需要予測
③医療・ヘルスケア	遠隔医療、公衆衛生のモデル化・シミュレーション、医療リソースの最適配置、データ活用による健康寿命の延伸（のための行動変容）
④モビリティ	交通流シミュレーション、混雑緩和、交通最適化、車両周囲のセンシング、自動運転等
⑤保険・金融	与信、不正検知、需要予測、株価予想、融資、信用評価
⑥建設・インフラ管理	3D測量、構造再現、建物・インフラ設備の劣化・故障・異常の検知又は診断、建物・インフラ設備の遠隔監視、メンテナンス効率化
⑦製造	生産設備の監視、保全、シミュレーションによる設計・開発・品質検査
⑧農業・畜産	スマート農業、農業機器や農業・畜産設備の遠隔操作・自動制御、収穫量・品質の予測
⑨サプライチェーン・物流	物流最適化、配送・配車の最適化、物資の需要・供給予測、リスク分析等
⑩エネルギー	発電設備の安定運用、エネルギーの需要・供給予測や需給最適化
⑪その他	—

IPR*-DAY（知的財産への関心度向上にむけたグループ横断的な取組み）

NTT知的財産センタでは、グループ社員の知的財産への関心をより一層高め、日々の業務に活かしてもらうことを目的としたグループ横断的な総合イベント「IPR-DAY」を昨年度より開催しています。

昨年11月に開催したIPR-DAY 2022には、グループ55社から幅広い職種で活躍する242名の参加がありました。当日

は、NTT知的財産センタからだけでなくグループ各社の知的財産部門担当者から提供されたタイムリーなトピックに活発な議論が交わされ、参加者からは「全体的に新鮮であり役に立つ内容が多かった」等の声が多数あがり、NTTグループにおける知的財産への関心と理解が一気に高まりました。

*Intellectual Property Right



IPR-DAY 2022 プログラム

- ・産業界の流行ワードから見る、最新の知的財産動向
- ・事業に貢献する特許づくりと活用
- ・事業戦略と研究開発戦略をつなぐ「IPランドスケープ」
- ・共創環境下における知財に関する留意点
- ・知財リスクマネジメント上の留意点
- ・著作物の保護と尊重
- ・メタバースと知的財産